



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月3日

上場会社名 中部飼料株式会社
 コード番号 2053 URL <http://www.chubushiryo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 平野 宏
 問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部長 (氏名) 井藤 直樹
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名

TEL 052-562-2010

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	118,054	2.6	1,370	△23.0	1,429	△27.7	963	△28.5
26年3月期第3四半期	115,028	12.6	1,781	△22.4	1,976	△18.8	1,348	0.3

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,876百万円 (0.1%) 26年3月期第3四半期 1,873百万円 (3.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	36.59	—
26年3月期第3四半期	51.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	69,779	37,924	54.3
26年3月期	65,382	36,474	55.8

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 37,898百万円 26年3月期 36,460百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
27年3月期	—	9.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	155,000	1.4	1,850	△24.1	1,800	△36.4	1,250	△35.7	47.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	26,535,508 株	26年3月期	26,535,508 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	159,221 株	26年3月期	233,183 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	26,335,386 株	26年3月期3Q	26,242,091 株

※期末自己株式数については、従業員持株ESOP信託口が所有する当社株式(27年3月期3Q106,600株、26年3月期180,700株)を含めて記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第 3 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第 3 四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動から個人消費に弱さがみられるものの、雇用情勢や企業収益の改善など、緩やかな回復基調にあります。しかしながら、海外景気の下振れリスクや急激な円安進行が懸念材料となり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

飼料業界におきましては、期初は高値圏にあった主原料のとうもろこし価格が、初夏以降米国で天候に恵まれたことから値を下げましたが、秋以降は投機資金の流入により上昇基調で推移しております。こうした原料状況を反映して、飼料メーカー各社は上期に2度値上げした配合飼料価格を第3四半期に値下げしました。上期に上昇傾向にあった原材料価格が多少は落ち着いたものの、夏以降急速に進行した円安やメーカー間の競争激化により、依然として厳しい事業環境が続いております。

このような状況のなか、当社は原料高騰に対応するために、原料の有効的利用によるコストダウン等を実施し、原価の低減に注力しました。また、新たな市場開拓はもとより顧客の要望に合致した新製品の開発、積極的な販売活動の推進による売上拡大を図る一方、生産性向上、経費の削減などにより業績の向上に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,180億54百万円（前年同四半期比2.6%増）、営業利益13億70百万円（前年同四半期比23.0%減）、経常利益14億29百万円（前年同四半期比27.7%減）、四半期純利益9億63百万円（前年同四半期比28.5%減）となりました。

売上高は、畜産飼料販売量や畜産物売上高の増加などにより、2.6%の増収となりました。営業利益は、飼料販売量が増加したものの、売上総利益率の低下や販売費及び一般管理費の増加などにより、23.0%の減益となりました。四半期純利益は、営業外費用に貸倒引当金繰入額を計上したことなどにより、28.5%の減益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(飼料)

売上高は、平均販売価格が前年同四半期を下回ったものの、畜産飼料の販売量が上回ったため、前年同四半期比1.6%増の984億61百万円となりました。セグメント利益は、畜産飼料の販売量が増加したものの、原料ポジションの悪化と競争激化による売上総利益率の低下や貸倒引当金繰入額の増加などにより、前年同四半期比26.1%減の10億79百万円となりました。

(コンシューマー・プロダクツ)

売上高は、ペットフードの販売量が若干減少したものの、畜産物売上高が増加したことにより、前年同四半期比11.4%増の146億74百万円となりました。セグメント利益は、前年同四半期比33.9%減の1億57百万円となりました。増収減益となった主な理由は、競争激化による利益率低下と運賃などの費用が増加したためであります。

(その他)

売上高は、前年同四半期比0.3%減の49億18百万円、セグメント利益は、前年同四半期比10.5%減の1億61百万円となりました。減収減益となった主な理由は、畜産用機器の輸出が伸び悩んだためであります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ43億96百万円増加の697億79百万円となりました。流動資産は444億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ44億43百万円増加しました。これは主に受取手形及び売掛金が40億93百万円、その他の流動資産が4億70百万円増加したことによるものであります。固定資産は253億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ47百万円減少しました。これは主に投資有価証券が5億35百万円増加したものの、長期貸付金が6億41百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ29億46百万円増加の318億55百万円となりました。流動負債は264億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億58百万円増加しました。これは主に未払法人税等が6億30百万円減少したものの、買掛金が26億24百万円、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が6億5百万円、その他の流動負債が11億14百万円増加したことによるものであります。固定負債は53億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億11百万円減少しました。これは主にその他の固定負債が2億67百万円増加したものの、長期借入金が10億16百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ14億49百万円増加の379億24百万円となりました。これは主に利益剰余金が4億90百万円、その他有価証券評価差額金が3億39百万円、繰延ヘッジ損益が5億53百万円増加したことによるものであります。純資産の増加を総資産の増加が上回った結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.5ポイント減少の54.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年 3 月期の業績予想につきましては、平成26年10月22日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年 5 月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年 5 月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第 1 四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の算定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

なお、この変更に伴う期首の退職給付に係る資産、退職給付に係る負債、利益剰余金及び損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,197	1,040
受取手形及び売掛金	28,523	32,617
商品及び製品	1,985	2,217
仕掛品	620	544
原材料及び貯蔵品	5,651	5,571
その他	2,347	2,817
貸倒引当金	△303	△342
流動資産合計	40,022	44,465
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	6,549	6,326
機械装置及び運搬具 (純額)	5,431	5,500
工具、器具及び備品 (純額)	575	611
土地	7,180	7,183
リース資産 (純額)	23	20
建設仮勘定	—	80
有形固定資産合計	19,759	19,722
無形固定資産	1,061	657
投資その他の資産		
投資有価証券	3,470	4,006
長期貸付金	968	326
退職給付に係る資産	214	209
その他	653	1,305
貸倒引当金	△766	△914
投資その他の資産合計	4,539	4,932
固定資産合計	25,360	25,313
資産合計	65,382	69,779

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,030	13,654
短期借入金	6,600	6,800
1年内返済予定の長期借入金	2,020	2,425
未払法人税等	660	30
賞与引当金	354	340
役員賞与引当金	39	—
その他	2,129	3,243
流動負債合計	22,835	26,493
固定負債		
長期借入金	4,250	3,233
債務保証損失引当金	48	46
退職給付に係る負債	423	462
資産除去債務	83	83
その他	1,267	1,535
固定負債合計	6,073	5,361
負債合計	28,908	31,855
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,695	2,695
資本剰余金	2,353	2,353
利益剰余金	30,003	30,494
自己株式	△145	△99
株主資本合計	34,906	35,443
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,188	1,528
繰延ヘッジ損益	380	933
為替換算調整勘定	△6	△0
退職給付に係る調整累計額	△8	△6
その他の包括利益累計額合計	1,553	2,455
少数株主持分	14	25
純資産合計	36,474	37,924
負債純資産合計	65,382	69,779

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第 3 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年12月31日)
売上高	115,028	118,054
売上原価	104,111	107,344
売上総利益	10,916	10,709
販売費及び一般管理費	9,134	9,338
営業利益	1,781	1,370
営業外収益		
受取利息	11	8
受取配当金	85	94
貸倒引当金戻入額	16	—
債務保証損失引当金戻入額	37	2
負ののれん償却額	31	—
保管料収入	67	137
その他	144	129
営業外収益合計	394	373
営業外費用		
支払利息	66	63
持分法による投資損失	49	18
貸倒引当金繰入額	—	102
保管料原価	61	128
その他	21	1
営業外費用合計	198	314
経常利益	1,976	1,429
特別利益		
固定資産売却益	80	5
投資有価証券売却益	—	2
特別利益合計	80	7
特別損失		
固定資産除売却損	22	33
投資有価証券評価損	6	5
ゴルフ会員権評価損	0	0
特別損失合計	28	38
税金等調整前四半期純利益	2,029	1,397
法人税、住民税及び事業税	626	455
法人税等調整額	57	△33
法人税等合計	684	422
少数株主損益調整前四半期純利益	1,345	974
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△3	11
四半期純利益	1,348	963

(四半期連結包括利益計算書)

(第 3 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,345	974
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	273	339
繰延ヘッジ損益	251	553
為替換算調整勘定	3	0
退職給付に係る調整額	—	2
持分法適用会社に対する持分相当額	0	6
その他の包括利益合計	528	901
四半期包括利益	1,873	1,876
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,875	1,865
少数株主に係る四半期包括利益	△1	11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	コンシューマー・ プロダクツ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	96,925	13,170	110,095	4,932	115,028	—	115,028
セグメント間の 内部売上高又は振替高	582	0	582	39	621	△621	—
計	97,507	13,170	110,678	4,971	115,649	△621	115,028
セグメント利益	1,460	238	1,698	180	1,879	149	2,029

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△626百万円、金融収支739百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

II 当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	コンシューマー・ プロダクツ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	98,461	14,674	113,135	4,918	118,054	—	118,054
セグメント間の 内部売上高又は振替高	604	0	605	46	651	△651	—
計	99,065	14,674	113,740	4,965	118,705	△651	118,054
セグメント利益	1,079	157	1,236	161	1,398	△1	1,397

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△730百万円、金融収支748百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。